【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【公表番号】特表2006-517689(P2006-517689A)
【公表日】平成18年7月27日(2006.7.27)
【年通号数】公開・登録公報2006-029
【出願番号】特願2006-508628(P2006-508628)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　6/293　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　6/28　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月5日(2006.10.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１熱膨張係数を有する第１プラグ(130)と、
第２熱膨張係数を有するケーシング(110)と、
第３熱膨張係数を有する第２プラグ(150)であって、前記ケーシング(110)によって前記第１プラグ(130)に接続される第２プラグ(150)と、
前記第１プラグ(130)、前記第２プラグ(150)及び前記ケーシング(110)に広がる開口(180,182)と、
を備える結合装置(100)であって、
光ファイバ(210,220)は、前記開口(180)を通過し、前記第１熱膨張係数と前記第３熱膨張係数はどちらも、前記第２熱膨張係数よりも大きく、
前記第１プラグ(130)は、第１マウンティング・ポイント(192,194)で前記光ファイバ(210,220)の少なくとも１つに接続され、前記第２プラグ(150)は、第２マウンティング・ポイント(196,198)で前記光ファイバ(210,220)の少なくとも１つに接続され、前記第１プラグ(130)及び第２プラグ(150)は、少なくとも１つのボンド(172,174,176,178)を介して前記ケーシング(110)に接続される、結合装置(100)。
【請求項２】
請求項１に記載の結合装置(100)であって、温度上昇は、前記第１プラグ(130)及び第２プラグ(150)の膨張を引き起こし、前記第１マウンティング・ポイント(192,194)と第２マウンティング・ポイント(196,198)との間の距離を減少させる、結合装置(100)。
【請求項３】
請求項１に記載の結合装置(100)であって、前記結合装置(100)は、前記光ファイバ(210,220)の少なくとも１つに沿って進む光信号を、異なる波長を有する複数の光信号に分割する、結合装置(100)。